

4月27日

市議会議員選挙

# 「暮らしの願い」が実る市政に

4期15年みなさんに支えられて

働く母親の一人として子どもの医療費無料化や学童保育所づくりの取り組みを仲間とともにすすめていた私が、「市民の願いが実る市政に」と市議会議員をめぐしたのは39歳の時でした。議会に送っていただいた後も議会外の活動と議会内の論戦を積み上げ、多くの市民のみなさんと力を合わせて一つ一つ要望実現の道を切り拓いてまいりました。

「地方政治は民主主義の学校」といわれるように、市政は暮らしにもっとも身近で、私達の願いが実る道筋も見えやすいものです。しかし、今、安倍政権は増税・社会保障切り捨てと戦争への道を暴走し、私達を守り育ててきた民主主義を踏みじろうとしています。

国の悪政が庶民の暮らしを痛めつけている今こそ、「市民の暮らし第一」の市政が求められていると思います。みなさんの切実な「願い」をお寄せいただき、それを力に、市民の願いが実る市政実現のため、いっそうがんばっていきたくて決意しております。

市議会議員

# はせだ 公子

きみこ

日本共産党



活動地域

北・南・殖蓮・茂呂・境

★略歴とプロフィール ●乳幼児医療費無料化運動、学童保育所づくり等に参加。●ひまわり児童クラブ会長。●市学童保育連絡協議会事務局次長。●群馬大学大学院教育学研究科卒。1999年5月より市議会議員（4期）。建設水道常任委員会副委員長等。家族は夫と2女、夫の母・弟。  
★現在 ■文教福祉常任委員、少子高齢化対策特別委員、議会運営委員。新日本婦人の会伊勢崎支部委員、伊勢崎佐波社会保障推進協議会事務局次長。

＜住所＞八幡町44 電話・FAX 25-1130 携帯 070-5564-6271  
メール haseda@jcp-isesaki.net  
ブログ・ツイッター・フェイスブックでも発信中

力を合わせて

この4年間の活動でかちとった主な成果をご覧ください。

## 市政を動かしてきました

### 国保税引き下げ

のべ5千人の署名が大きな力に

「高すぎて払えない」と悲鳴が上がっていた国保税。2012年度は1世帯平均1万5千円の引き下げが実現しました。

日本共産党市議団は議会でもくりかえし引き下げを求めてきましたが、当初の市の答弁は「安定した財政運営のため：引き下げはしない」と冷たいものでした。しかし、10年、11年にのべ5千人の引き下げ署名が提出されるなか、市の対応も変わり、ようやく引き下げ実現にこぎつけることが出来ました。

### 住宅リフォーム助成制度

市内業者の仕事起こしに大きな役割

地域経済の活性化に大きな効果が期待できる「住宅リフォーム助成制度」。日本共産党市議団は数年前から実現を求め、議会でも取り上げるとともに、業者団体にも共同の運動を呼びかけました。ある団体からは「ほんとうは私たちが率先してやらなければならないこと」と感謝の言葉も寄せられました。

2012年度に実現したこの制度は、補助率30%（上限20万円）と県内でも高い水準となり、業者からも市民からも大歓迎され、当初「1年限り」とされていたものが翌年度も継続されました。



### 小中校 養護学校 幼稚園にエアコン

取り付け工事は地元業者に

学校の教室へのエアコン設置は、当初、12年度に小中学校、13年度に養護学校・幼稚園という計画でした。日本共産党市議団は「養護学校や幼稚園が後回しはおかしい」と指摘し、12年度中にすべての学校・幼稚園へ設置するよう改善させました。

また、取り付け工事は地元業者に分割発注することも提案。教育委員会もこの提案を取り入れ、16億円の工事が市内の30社に発注されました。

### 伊勢崎駅周辺区画整理事業

市民の運動で大幅見直し実現

総額1137億円の巨大大事業として計画されていた駅周辺の総合開発事業。はせだ公子市議は、関係住民のみならずとともに、大幅見直しを求めて粘り強い運動を進めてきました。

その結果、35メートル道路の取りやめ、それに伴って減歩率の3%引き下げなどの画期的な見直しを実現。事業費も圧縮されました。事業の進め方も、住民に丁寧な説明をおこなうなど改善されました。

●日本共産党伊勢崎市議団の活動と政策をお伝えします。

2014年2月号

発行/日本共産党伊勢崎佐波地区委員会 北千木町2087 電話25-4854

伊勢崎民報